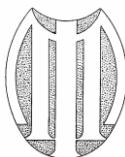


南成瀬中だより



—2025年度 第7号—

ホームページアドレス <https://machida.schoolweb.ne.jp/1320099>



2025年11月27日発行

共生、自主、貢献
町田市立南成瀬中学校

校長 杉浦元一

Tel 042 (729) 3441

Fax 042 (721) 4478

あいまいな文を避けて、誤解を減らそう



校長 杉浦 元一

最近、人間がクマに襲われケガをしたり命を落としたりしていることが連日のように報道されています。森にエサが不足していて、クマが市街地まで姿を現すようになっていますが、町田市でも北部の山沿いにクマの目撃情報があり、注意が必要です。

クマに会ってしまった時の対処法について、ある専門家がテレビのインタビューで「すぐに走って逃げてクマを興奮させない」と答えていました。さて、この場合、クマに会ったら、走って逃げたほうがいいのでしょうか。それとも、走って逃げてはいけないのでしょうか。実際はゆっくりと後ずさりしてクマから離れるのが正解なのですが、この文はどちらの意味にも取れてしまい、解釈を間違えると大変なことになります。

このような日本語のあいまいさは、いろいろな場面で見ることができます。「私には双子の妹がいます」という文の「私」は2人きょうだいか、3人きょうだいか。「有名な女性の肖像画」という文で有名と言っているのは、女性なのか、肖像画なのか。「ニューヨークで一流のダンサーになると誓った」という文の意味は、ダンサーになる場所はニューヨークに限定なのか、それとも、誓った場所がニューヨークだっただけで、ダンサーになるのは他の場所でもいいのか。

宮沢賢治が書いた児童文学である『注文の多い料理店』は、この日本語のあいまいさをタイトルにうまく使った例です。店を訪れた獣師は「客からの注文の多い」つまり、繁盛している店だと思いましたが、実は「店から客への注文が多い」ことに気づき、山の化け物に食べられそうになるというお話です。

このような文のあいまいさは、友達とのトラブルを引き起こすことがあります。例えば、すごく写真を撮るのが上手な友達に「僕は君のように写真が上手ではない」と言ったとします。相手を褒めたつもりなのに、相手は「上手ではない」とけなされたと思うかもしれません。こうした誤解は、SNSのように短い文が続くときによく起ります。

- A 「歌手の〇〇って、いいよねー！」
- B 「ほんと、かっこよくない」
- A 「え、否定・・・？」

- A 「ごめん、私のせいだ」
- B 「もう気にしなくてもいい。
友達じゃない。」
- A 「え、絶交・・・？」

- A 「明日、駅前に集合だよね？」
- B 「私は駅まで自転車でいくよ。
Aはなんてくるの？」
- A 「え、じゃあ、行かない・・・」

- A 「このお弁当、やばい」
- B 「まずかった？」
- A 「せっかく美味しいってほめたのに」

「やばい」は、特に誤解を生みやすい言葉です。「あやしい」「まずい」「緊張している」などの悪い意味にもなりますし、「楽しい」「美味しい」「かわいい」「感動している」などのいい意味にもなります。

あいまいな文では、語順を入れ替えたり、句読点を付けたり、もう一言付け加えたりすれば、意味が通りやすい文になることが多いです。どうすれば誤解のない表現になるのか、ぜひ日頃から工夫をしてみましょう。

(2025年11月10日の全校朝礼における校長講話より)

盲導犬に関する学習講演会（2年生）

10月21日（火）、2年生では盲導犬に関する授業が行われました。町田市在住の内田明利様は目が不自由で盲導犬のウェイちゃんと約5年間一緒に生活しておられます。今回の講演では、盲導犬との生活、盲導犬として活躍するまでの訓練の様子、盲導犬を子犬の時から育てるパピー・ウォーカーの役割、視覚障がいの方々の仕事などについて、大変貴重なお話を聞いていただきました。生徒たちにとっては、思いやりの心や信頼することの大切さ、福祉の必要性、生命の尊さなどを学ぶ機会となりました。



障害物をよけて歩くウェイちゃん

面接サクセス講座（3年生）

10月28日（火）、3年生は面接サクセス講座を実施しました。多くの3年生が高校などの上級学校への進学を目指している中、入試で面接が行われる学校が多いのでその対策として行われました。今回は桜美林高校の教頭先生をお迎えし、よくある質問、回答のポイント、身だしなみ、集団面接の場合の注意点など、貴重なお話を聞いていただきました。どの生徒も真剣に話を聞いている様子が見られました。11月から3年生は全員、校長、副校長、学校運営協議会委員の方々と面接の練習を実施していくことになります。



緊張感をもって講演を聞きました

避難訓練（不審者侵入時の対応）

10月30日（木）、避難訓練が行われました。今回の避難訓練は、不審者が校内に侵入したことを想定して、町田警察署の2名の職員の方にご協力いただき、実戦ながらの訓練を行いました。町田警察署の職員の方には不審者役を演じていただき、校内を大声を出して歩き回っていました。教室で学習していた生徒たちは、不審者侵入の放送を聞き、教室のドアの内側に机と椅子でバリケードを作り、姿勢を低くし静かにして気配を消すことで、不審者が教室に侵入しない態勢を整えました。



真剣に取り組みました

起業家ペイフォワードプログラム（2年生）

11月20日（木）に、2年生は（株）フラッグシップオーケストラ代表取締役である大澤穂高様を講師としてお招きし講演会を行いました。大澤様は本校の卒業生であり、26歳の時に現在の会社を創業しました。得意なことよりも好きなことを仕事にしていくことの意義、リーダーとしてプレない大切さなどについて話してくださいました。また、中学校時代に集団生活の中で人間関係を学んだことが今の自分につながっており、学校行事などを仲間たちと一緒に懸命に取り組むことの格好良さについても話してくださいました。



社会で必要なことを学びました

表彰

○野球部

町田市秋季大会 **第3位**

※金井中学校・薬師中学校との連合チーム

○卓球部

第68回市民スポーツ大会

中学1年生以下男子個人 **第5位**

1年 S.M さん

第2回東京都中学校第7ブロック

町田地区卓球1年生大会 **第5位**

1年 S.M さん

○陸上競技部

第68回市民スポーツ大会

男子中学1年 走り高跳び **第2位** 記録1m30

1年 S.K さん

男子中学1年 走り幅跳び **第2位** 記録 4m60

1年 S.K さん

男子中学1年 100m走 **第2位** 記録 13秒04

1年 H.T さん



三者面談に向けてのお願い

12月1日（月）から8日（月）までに三者面談を実施します。面談時間が15分間程度と短いので、あらかじめ話題に取り上げたい内容を準備して面談に臨んでいただくようお願いします。